



金沢 玄羅画廊で5回目の個展となります。行く度に金沢の街をブラブラ歩き、風・雲・匂い・空気・味覚・空・木々のざわめきを感じながら、親しい方々にお会いするのはとても楽しみです。絵は毎日同じ時間に描きます。食事をするようなもので本能がそれを求めるので、苦に感じた事はありません。むしろ何か新しい事を発見した時の喜びは何にも代え難い瞬間です。そうやって生きて少しでも絵の未知数に近づきたいのですが、後百年生きても解けないのはわかっているので、それでも毎日励もうと思っています。こんな僕の絵をご覧頂けたら幸いです。

高波壮太郎



「鳥と話す男」JSM



「百花繚乱」15F

- 高波壮太郎 年譜
 1949年 東京に生まれる。
 1973年 多摩美術大学油彩科卒業。在学中に中本達也氏に師事。
 1986年 フランセーズコレクションより東京、パリにて版画集「Nature」を同時発売。
 1989年 新宿京王百貨店にて個展 ('90~'02・'04~'12・'16・'20)。
 1990年~ 全国の高島屋にて個展以後毎年、隔年開催。
 2002年 吉井画廊(パリ)にて個展開催。吉井画廊(銀座)、ギャラリー・ラ・リュージュ(麻布)にて帰国展同時開催。
 2004年 ルーブル美術館で販売される本「猿俳句12選」の原画展をギャラリー・ラ・リュージュにて開催。吉井画廊(パリ)にて「猿俳句12選」の原画展開催。 RMN (Reunion des Musees Nationaux ARLYSフランス国立美術館連合)より「猿俳句12選」出版。
 2010年 笹川平和財団より「THE BEGINNING OF SPACE」<神々の開闢>中東に向けて刊行。横綱 白鶴関の化粧まわしの下絵制作。
 2014年 銀座吉井画廊本館、サロンにて同時個展開催。
 2018年 金沢・玄羅にて北陸初個展 以後毎年開催。
 2019年 LAアートショーに出演('21)、モナコヨットショーに出演 スコープマイアミバーゼルに出演。
 2021年 NYラグジュアリーデザインショーに出演、ニューヨークにて個展開催、NYアートエキスポに出演。
 2022年 PAKSギャラリー(オーストリア)にて1月から1年間の作品展示。

アート
玄羅
gen ra

POST CARD

全身画家 高波壮太郎展

4月23日(土)~5月17日(火) 12:00~17:00【水・木曜休み】

●作家在廊日 4月23日(土)、24日(日)

描くことは、生きることという画家はよくいるが、高波壮太郎の源泉は、絵によって自らが生かされていることを認知していることである。自分を生かすなにかがしかの存在を意識するのは、時に描く対象となる雄渾な富士山が持つ自然の気配であり、花の生命力を司る力であったり、男女の愛の結びつきだったりする。自然に宿る生命力と死に至る不可思議さに突き動かされ、日々描く行為に結実して、この血流渦巻く絵画が成立している。

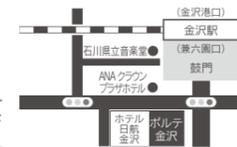


「白薔薇」12P

一見、饒舌なエネルギーにあふれたようだが、深く見ると、画家の思索が次々と浮かび上がる。そこに自分でも定まりきれない魂が苦悶し、解放を求めてあえぐ精神的な空間が存在する。強靱で美しく、ほとばしる色彩の構築の果てが、キャンバスに収まり切れない森羅万象を呑み込もうとする画家の宇宙につながっているゆえんである。

アート
玄羅
gen ra

〒920-0853 金沢市本町2丁目15-1 ホテル金沢3F
 TEL/FAX 076-255-0988 [ホテル日航金沢横]
 E-mail genraart@ozzio.jp
 Web http://genraart.com



国の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに沿い、鑑賞環境には十分気を付けてまいります。会期中、時短営業・臨時休業・入廊制限する場合がございます。